



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和元年(2019年)
8月5日
月曜日
第214号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

魅力ある学校づくり「コアスクール」 指定校の取り組み

新学習指導要領や高大接続改革で求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現し、生徒に「生きる力」を身に付けさせるため、平成30年度から「魅力ある学校づくり推進事業」をスタートしました。その中で、大学との連携や民間のノウハウの活用など、これまでの概念にとらわれない、新しい取り組みに挑戦する高校を「コアスクール」に指定し、さまざまな特色ある事業を実施しています。

この事業では4つのカテゴリーを設け、各指定校が特徴的な取り組みを行っています。

項目	校数	学校名
進学重点	11校	韮山、沼津東、富士、清水東、静岡、静岡東、藤枝東、掛川西、磐田南、浜松北、浜松西
学力向上	11校	下田、三島南、富士東、清水南、静岡城北、 焼津中央 、藤枝西、島田、榛原、浜松南、浜北西
学力進展	11校	熱海、 裾野 、沼津城北、静岡西、藤枝北、島田工業、金谷、袋井商業、浜松湖東、浜松湖北、湖西
英語教育	6校	三島北、吉原、富士宮西、掛川西、浜松北、浜松湖南

学習・進路支援の2本の矢 (焼津中央高校)

《 焼津中央高校の取り組み 》

焼津中央高校では、生徒の学力や進路意識を高め、大学受験に向けて意識や知識を高めることを目的とした「Core School Seminar」と、国際的な視点や主体的に探究する力を育むことを目的とした「Chuo Seminar」を両輪として、学習・進路支援を行っています。



《 特徴的な取り組み①「新聞記者による志望理由書の添削指導(Core School Seminar)」 》

ねらい：①志望動機を書くことを通して、自らの進路について具体的に考える。
②自分の考えを相手に明確に伝える表現方法を学ぶ。
③添削された志望動機を、進路相談の資料として活用する。

実施時期：3年1学期

方法：①現時点での志望大学の志望動機を書く。
②新聞記者に添削を依頼する。
③1学期末に返却された志望動機を、夏休みの面談などでも活用する。

本年度から新たに実施している試みです。この取り組みを通して、文章の構成方法やより効果的な表現方法を学ぶとともに、生徒自身が大学についてより深く調べたり、それまで曖昧だった動機をしっかりと考えたりすることができるようになりました。

《 特徴的な取り組み②「ALTによる昼の放送(Chuo Seminar)」 》

ねらい：①英語を身近に感じ、英語学習に対するモチベーションを高める。
②授業外でも英語に触れる機会を設け、英語力を伸ばす。

実施時期：2～3週間に1回程度

方法：①放送部とALTが協力して昼休みの放送番組を制作する。
②ALTがDJを担当し、生徒と会話をしたり、音楽を流したりする。

「ALTがDJをしなが、英語の音楽をかけたと一緒に歌ってくれたりするので、非常に楽しい」という感想が寄せられ、好評を博しています。楽しみながら英語に触れ、英語や外国の文化について、さらに深く学びたいという意欲も高まっています。

《 これからに向けて 》

生徒一人一人の「自らの進路を自らが実現しようとする主体性と意欲」をさらに高めていけるよう、今後も多彩で幅広い学習機会を企画していきたいと思っています。本校教員だけでなく、生徒たちにも大学や研究機関などで学ぶ機会を提供し、主体的・探究的な学びの姿勢と、将来の展望を自らがイメージできる力であるキャリアデザイン力を育てていきたいと考えています。

これからもコアスクール事業を活用し、授業改善・指導改善に取り組み、生徒たちの可能性をさらに伸ばしていきたいと思っています。

探究学習とキャリア教育で生徒のやる気をアップ(裾野高校)

《 コアスクール事業のスタート 》

裾野高校では、先進校の取り組み事例を参考に授業の改善や探究学習の研究、さらにはキャリア教育の充実を図ることで、生徒の学習意欲や進路意識の向上を目指しています。

《 特徴的な取り組み①「トークフォークダンス」 》

ねらい：①地域住民に裾高生を知ってもらう。
②生徒が世代の違う人々との会話を通して多様な考え方に触れ、自己表現力や会話力を身につける。

実施科目：産業社会と人間(1年生)

実施時期：平成30年7月

方法：生徒と地域住民がフォークダンスのように次々と相手を替え、さまざまなテーマで語り合う。

自己の考えを地域の方に真剣に聞いてもらったことで、生徒たちの自己肯定感の高まりが感じられました。



トークフォークダンスの様子

《 特徴的な取り組み②「小さな宿題」 》

ねらい：生徒の家庭学習時間の増大

実施科目：全科目

実施時期：平成31年1月より

内容：それぞれの教科において、学習習慣をつける。

- ①生徒の主体性を重んじたもの
- ②短時間でできるもの

取り組む内容に関しては、すぐに取り組めるものが中心で、課題の提出率も良好です。



《 これからに向けて 》

平成30年度からスタートしたコアスクール事業は、学校にとって必要な取り組みであるということが職員に理解されてきました。特に、平成30年度に、多くの職員が県外の先進校を視察したことで、職員が刺激を受け、高い意識を持って事業に取り組んでいます。



職員研修の様子

この取り組みにより、少しでも「ねらい」を達成したいと思っています。

【高校教育課】

ラグビー界のレジェンドが語る!「チームでうまくコミュニケーション～ラグビーから学んだこと～」講演会参加者募集

9月、世界の舞台がいよいよ静岡に登場し、大注目のラグビー。その魅力を静岡県出身のラグビー元日本代表・小野澤宏時氏が語ります。チームワークの作り方は?現役時代に大切にしていたことは?ラグビー界のレジェンドが自身の貴重な経験を基にラグビーの魅力や、コミュニケーションについて語る貴重な機会です。

講師 小野澤 宏時氏

(静岡県教育委員、ラグビー元日本代表)

1979年、島田市(旧金谷町)生まれ。
静岡聖光学院中学、同高校、中央大学を経てサントリー等に所属。
ワールドカップ2003、2007、2011に出場、日本代表81キャップ(日本歴代2位)の記録を持つ。また、ラグビー7人制ワールドカップ2005にも出場。現在、アザレアセブンス監督、エスパルスアスレティックアドバイザー、県教育委員など静岡県内でも活躍中。



【日時】令和元年9月14日(土)午後2時～3時30分(開場 午後1時30分)

【会場】静岡県立中央図書館 2階講堂

【定員】200人(先着順)

【対象】一般の方

【申込】(1)電話 054-262-1246 (2)FAX 054-264-4268

(3)メール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

(4)直接当館カウンターにて

※FAX、Eメールの場合は、件名を「小野澤氏講演会」として、氏名(ふりがな)を記入してください。

【費用】参加無料

【その他】託児施設はありません。ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

【関連展示】8月31日(土)～9月29日(日)まで関連展示を行います。

9月13日(金)～9月16日(月)は光るラグビーボールのモニュメント等も登場!一層華やかに!

【県立中央図書館】

参加無料

実践NOTE 425

子どもの発言を 引き出すために

下田市立福生沢小学校 教諭 宇仁、陽子

発言はあるけれど 聴き方・話し方

「〇〇です。なぜか」というと・・・子どもたちの発言は続きます。子どもたちは、自分の考えを言いたい、分かったことを伝えたいという気持ちでいっぱいです。発表することに抵抗のない子が多く、どの子も意欲的に挙手をします。

しかし、発問とは違っていた発言があったり、友達の見解が発問と違っていても受け入れられ、反応できなかったりという場面が気になりました。

そこで、目の前の子どもたちにとって、発問は的確なのかを考えるようになりまし。また、子どもたち同士も友達の発言をしっかりと受け止め、きちんと反応できるようにするために何が必要か考えました。



授業中の筆者



子どもたちの発表の様子

問いが生まれる 発問の仕掛け

一番大切にしたいことは、発問の工夫です。問われていることにきちんと反応ができるようになるためには、①発問が子どもの実態に合っていること②問いが子どものものになっていることを重視しました。算数では、前時までの違いをはっきりさせ、本時の問いが生まれるように仕掛けました。「今日の問題は、ぱっと計算できないよ」というような困り感を「ぱっと」という言葉とともに全員で共有しました。「どうしたらぱっとできるだろう」と投げかけました。すると、プロックを操作しながら、言葉で説明し、問いに対してきちんと発言できるようになりました。

朝の会でのスピーチは、スピーチに対しての質問や感想を求めることにしました。質問や自分の思いを言うためには、きちんと聴かなければいけないという状況になります。すると、子どもたちは、スピーチをより注意深く聴くようになりました。真剣に聴いてもらえると、スピーチをする方も話し方に気を付けるようになります。

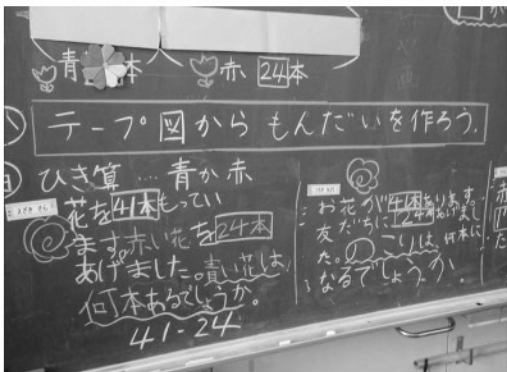
次は、話し方のスキルも取り入れました。聴き方・話し方を意識させたことで、友達の話の内容をよく聴き、きちんとした反応をすることができるようになりました。

「はい」に深まりを
日々、目標に迫る発問を悩み、考えます。そんな時、悩みを共感して助言してくださる先生方の存在はとて大きいです。そういった先生方のアドバイスや、一生懸命学ぼうとする子どもたちに励まされながら、これからも「はい」と元気に、きちんと発言する子どもたちを育て、教室での学びを深めていきたいです。



学年が上がっても挙手する子どもたち

「どうしたらすすきりしません。」という問いかけは、何かが分かっていない数、分からない数を求める問題にするという問いかけを見つけてしま



テ-プ-図から問題を作る場面

実践NOTE 426

自己の生き方を考える 生徒の育成を目指す 「夢達成プロジェクト」の推進

川根本町立中川根中学校 教諭 相藤 由里

はじめに

本校では、夢に向かって自分の道を切り開いていくことを目指し、将来の職業について考える絶好の機会となつていくことができるよう、総合的な学習の時間を利用して「夢達成プロジェクト」を展開しています。

この取り組みは、1年生でさまざまな職業について知り、2年生で実際に職業を体験するとともに、高校の先にある大学や専門学校などについて知り、3年生で中学校卒業後の進路について学ぶというプログラムとなっております。



仕事道具に興味津々の生徒

生き方に触れる 講演会

自分自身の生き方や将来を考えるきっかけとするために、全校生徒を対象に「夢達成プロジェクト講演会」を開催しています。これまで、タレントの久保ひとみさんや町づくりで活躍しているNPO法人代表の飯倉清太さんに講演していただきました。講演会は、多様な考え方に触れることができる貴重な機会であり、生徒にとって今後の生き方について考えるきっかけとなっております。



大学訪問～学生との交流～

今後に向けて

取り組みを通し、「将来就きたい職業や卒業後に進みたい学校がある」と考えるようになり、自分の将来について向き合うようになってきている生徒も少しずつ増えています。

「体験」を中心としたさまざまな取り組みは、家庭や地域からも高い評価を受け、学校と家庭・地域との良好な信頼関係の構築にも繋がっています。



職業人に学ぶ会の打合せを行う筆者

職業人に学ぶ会

1・2年時には、10人ほどのグループで各ブースをまわり、さまざまな職業の方々から仕事の内容や必要な資格、就労のきっかけや仕事の魅力などについて話を聴く「職業人に学ぶ会」を開いています。昨年度は計8事業所、本年度は5事業所の方々から講師をお願いしました。



講演会～講師に質問する生徒～

外部人材の活用

「夢達成プロジェクト」を実践していく上で、関係機関はもちろん家庭や地域の理解や協力

子どもたちに刺激ある芸術体験を！
令和2年度文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）実施校募集

文化庁及び県では、子どもたちの豊かな創造力を養うため、学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣する「文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）」を実施しています。

音楽、美術、文学、伝統芸能等、幅広い分野の芸術家を講師として招き、実技披露や指導、講話を行います。学級や部活動単位でも実施可能ですので、間近で講師の指導を受けることができます。本年度は県内32校で実施中です。

8月下旬に、来年度の実施校を募集します。ぜひご応募ください。

主催者：文化庁、県、実施校
対象者：小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校
募集時期：8月下旬～9月下旬(予定)
実施時期：令和2年6月初旬～12月下旬(予定)
経費：謝金、旅費、講演等諸経費(楽器運搬費等)は文化庁負担。文化施設を使用する場合、借上料や生徒の移動費等は実施校負担。

問文化・観光部文化政策課
054(221)3109



人権教育担当者研修会

県教育委員会では、小・中学校、高等学校、特別支援学校の人権教育担当者を対象とした研修を行いました。市町教育委員会の担当者や各学校管理職等の聴講も含め、東部及び中・西部の両地区で、合わせて延べ663人が参加しました。

講演 力のある学校と学習集団づくり
—子どもたちにラブレターを書こう—
神戸親和女子大学・新保真紀子氏



子どもの貧困調査や学力調査の結果と、子どもの自尊感情、レジリエンスの相関についての解説を踏まえた上で、学校が地域と連携し、「力のある学校」として諸課題を克服していく展望が示されました。インクルーシブな「集団」としての学びの在り方、特に学び方(AL等)と学びの質の問題、教師としての構え等に多く示唆をいただきました。

研究協議1 参加体験型学習

参加体験型学習とは、教える側と教えられる側の関係で学ぶのではなく、学習者が、実際に活動に参加したり、経験や知識に裏打ちされた自分なりの言葉で語り合ったりする中から生まれる、気づきや共感を大切に学習する学習です。「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」にもあるように、人権感覚の育成は、共感的に理解していくプロセスが重視されます。今年度は、児童生徒が巻き込まれやすいSNSトラブルについての演習を通じ、学習者相互の気づきについて共有することから、指導の在り方についての考察を進めました。

研究協議2 全体計画を基にした研究協議



各学校で作成した人権教育全体計画をもとに、情報交換を行いました。各校種の違いや、地域性、「強み」と「弱み」の実情を踏まえた、活発な話し合いがなされました。「人権」を各校の生活の中にしつかりと位置付け、学校に根ざした組織的な推進を図ることが大切です。

今回の研究協議に関する資料について、人権教育推進室ホームページ(<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-020/jinken/jinkenkyouiku.html>)に掲載しています。ぜひ伝達研修等でご活用ください。【人権教育推進室】

インターネット起因の性被害防止活動 しずおかポリス“ふじネット” ～守ろう! 教えよう! 広げよう! “ふじネット”～

重要 平成30年中、本県ではSNSに起因する児童買春や児童ポルノ等の性被害にかかる事犯で45人を検挙し、被害児童35人(中学生12人、高校生20人、有職少年2人、無職少年1人)を発見保護しています。被害児童は、全員、フィルタリングを利用しておらず、SNSを通じて知り合った加害者と直接会うなどして被害に遭っています。

フィルタリングを利用する!
ネットには、危険な情報がいっぱいあります。フィルタリングは、危険な情報から子どもを守ります。

自撮りをしない! 送らない!
自分の顔写真や裸の写真をスマホで送ると、ネット上から削除することは困難です。絶対にダメです。

ネットで知り合った人と会わない!
ネットでは、多くの人と知り合えますが、犯罪をしようと考えている人もいます。ネットで知り合った人と会うのは危険です。

ネットで知り合った人に画像を送信するのは大変危険です!!!



静岡県警では、県教育委員会、学校、携帯電話事業者等と連携した、啓発活動「しずおかポリス“ふじネット”」を推進し、児童生徒及び保護者に性被害防止を呼びかけています。啓発活動の申込みは、県教育委員会社会教育課で受け付けています!

小中学校ネット安全・安心講座 検索 【警察本部少年課】

静岡県英語指導力向上事業 ～「小・中・高連携」解決のヒントはここにある～

平成30年度から、静東管内(富士宮地区)、静西管内(森地区)の各モデル地区において、「小・中・高のつながりを見通した授業改善」についての研究を進めています。各地区の共通テーマに基づいて小・中・高がつながるCAN-DOリストを作成し、その活用を通して、各段階の接続を見据えた英語指導力の向上につなげています。今年度は、研究2年目の公開授業研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。

富士宮地区

- 富丘小学校 10月30日(水)
- 富士宮第四中学校 11月6日(水)
- 富士宮西高等学校 10月9日(水) 2月17日(月)

- 【小・中学校外部講師】
大阪成蹊大学准教授 赤沢 真世氏
- 【高等学校外部講師】
敬愛大学教授 向後 秀明氏

森地区

- 宮園小学校 11月25日(月)
- 旭が丘中学校 11月11日(月)
- 遠江総合高等学校 11月18日(月) 2月4日(火)

- 【小・中学校外部講師】
常葉大学准教授 柴田 里実氏
- 【高等学校外部講師】
静岡大学名誉教授 三浦 孝氏

※飯田小学校は平成30年度に実施

平成30年度公開授業研修会より

どの子ども生き生きと英語を話していたのが印象的だった。このような姿になるまでの単元計画、積み重ねが素晴らしいと感じた。(小学校授業参観者の感想)



あれだけの長い時間、生徒たちがずっと英語で話していて衝撃を受けた。日頃からの継続的かつ細やかな指導の賜物だと感じた。(中学校授業参観者の感想)



小・中・高等学校の先生方がグループになっての協議も行われました。

【義務教育課】

学びたくなったら「まなぼっと」

～「まなぼっと」は生涯にわたって学び続ける皆さんを応援します～

「まなぼっと」を使って関心ある講座・イベントに参加しよう!!

「まなぼっと」は、生涯学習情報を提供しているウェブサイトです。主に、教育関係者や保護者の皆様にご利用いただいています。まずは、お気軽に「まなぼっと」を覗いてみてください。きっと、学びたい学習情報が見つかるはずですよ!

まなぼっと静岡

検索

問い合わせ先

静岡県総合教育センター
生涯学習企画課生涯学習推進班
TEL 0537-24-9715

親子一般

オルガン¥500コンサート

AOIが誇るパイプオルガンの調べを体感できます。

【日にち】 8月22日(木)
【場所】 静岡音楽館AOIホール
【Point】 オークストラや合唱団での演奏など幅広く活動しているオルガン奏者中野ひかりさんのコンサートです。

子ども

自由研究お助け隊 ～子供学芸員教室研究部門～

夏休みの自由研究に是非、ご参加ください。

【日にち】 8月24日(土)
【場所】 浜名湖体験学習施設ウォット
【Point】 飼育スタッフと自由研究のテーマを一緒に探すことができます。

親子一般

Knot to knot's

～つなぎ目とつなぎ目をぎゅっと結ぶ～

海を感じながらワークショップに参加しませんか?

【日にち】 9月8日(日)
【場所】 静波海岸 カフェつなぐ 接続の森
【Point】 ハイナン地区を元気にするイベントです。地引き網体験を通じて、ハイナン地区を盛り上げましょう。

一般

みんなでつくろう学校図書館講座

多様な児童生徒とのコミュニケーションスキルを磨けます。

【日にち】 ①9月13日(金) ②9月27日(金)
【場所】 ①静岡県総合教育センター ②富士市教育プラザ
【Point】 学校図書館のエキスパートであり、特別支援専門員も務める講師による講座です。

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 第9回ふるさと貢献賞 ～募集中～

長年にわたり、地域のために献身的な活動を続ける学校、団体、個人などを顕彰します。身近に該当する事例がありましたら御推薦ください。自薦・他薦は問いません。

- 部門 学校の部 団体・企業の部 個人の部
- 対象となる活動
 - ・きれいな街にする活動 ・みんなに優しい暮らしをつくる活動
 - ・楽しく、生き生きと暮らすための活動
 - ・安心・安全に暮らすための活動 ・絆を育む活動 など
- 応募締切 令和元年9月17日(火)消印有効
- 発表及び表彰 有識者による選考委員会で、部門ごとに活動内容や地域への貢献度について審査し、受賞団体・個人を決定します。
- 【新聞発表】 1月上旬に静岡新聞紙上で受賞団体・個人と活動を紹介します。
- 【表彰式】 令和2年1月25日(土)静岡新聞放送会館(静岡市駿河区登呂)
- 提出先及び問い合わせ先
 - 〒422-8033 静岡市駿河区登呂3丁目1-1
 - 公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 「ふるさと貢献賞」係
 - TEL 054(284)3217 FAX 054(284)3279
 - ※詳しくは当事業団webサイト「ふるさと貢献賞」のページ
 - http://www.sbs-bunkafukushi.comをご覧ください

【義務教育課】

「Eジャーナルしずおか」新連載記事 あなたの学校教えてください。

Eジャーナルしずおかでは、学校現場の様子などを積極的に紹介していきます。については、教職員の皆様からさまざまな情報を募集し、それを記事にして掲載していきます。

例えば...

- ・学校の自慢
- ・秘伝の給食レシピ
- ・自慢の生産物
- ・企業と連携した商品開発
- ・地域と連動した学校の魅力発信 など
- ・活躍する児童生徒
- ・伝統行事の紹介

しっかりした取り組みから、ゆるーい小ネタなど、Eジャーナルでさまざまな取り組みをPRしませんか? ご希望がある場合やお問い合わせは、教育政策課へメールをください。
(kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

【教育政策課】

学び続ける教職員へ ～参加者募集中～

第2回ぷらっと観音

沢登りでは、滝つぼへの飛び込みやロープを使った岩登りなど、沢の魅力をつぶり味わえます。沢遊びでは、浅い水辺でのんびり過ごしましょう。かわいいサワガトと出会うかもしれませんよ。

- 募集期間 事前申込みなし(当日の9:30～11:00受付)
- 実施日 令和元年8月25日(日)
- 会場 静岡県立観音山少年自然の家
- 定員 なし
- 費用 無料
- 問い合わせ先 静岡県立観音山少年自然の家
- TEL 053-545-0111



(教職員・栄養教諭向け) 食農体験学習指導者育成講座

食農体験の知識や技術を学ぶ講座を開催します!

- 第1回 8/31(土) 13:00～16:00 JA静岡市美和支店
「しょうゆを使った味覚体験、野菜の苗植え体験等」
- 第2回 10/19(土) 13:00～16:30 静岡県産業経済会館
「食農体験学習の意義、味覚教育の実践方法等」
- 第3回 11/30(土) 13:00～16:00 静岡市北部生涯学習センター美和分館
「農業体験のポイント、収穫した野菜を使った調理等」
- 募集期間 8月23日(金)まで
- 定員 20人程度
- 費用 無料
- 問い合わせ先 経済産業部地域農業課 TEL 054-221-2813

あんしん むすぶ 教職員共済

http://www.kyousyokuin.or.jp/

教職員共済は「教職員」だけがご加入いただける共済生協です!

教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた、共済事業を行う生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる共済生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための共済生協です。

厚生労働省認可

「あむりん」は教職員共済のイメージキャラクターです。

教職員共済生活協同組合 静岡県事業所 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館 3階 TEL: (054)251-1085

【広告】



「教職員」のためのラインナップ!

- 業務中の賠償事故も補償!
- 総合共済
- 火災共済 (住宅災害等給付金付火災共済)
- レスキュースリー (交通災害共済)
- 自然災害共済
- トリプルガード (団体生命共済・医療共済)
- 新・終身共済 (終身生命共済)
- 自動車共済 (自動車共済)
- 年金共済 (年金共済・遺族年金共済)
- 車両共済 (車両共済)

詳しくはWEBへ!

教職員共済

検索

